

Institute of Chemical and Engineering Science (ICES) 視察会

シンガポール事務所

2月15日(月)に、シンガポール商工会議所第二工業部会の主催で、研究機関 ICES の視察会が開催されました。ICES はシンガポール科学技術庁 Agency for Science, Technology and Research (A*STAR)傘下の研究機関の一つで、化学分野の研究を担当しています。科学技術庁は日本では文部科学省の組織ですが、シンガポールでは通商産業省の組織であることから、ICES にも経済発展への貢献や企業活動への支援が強く求められているとのことです。

ICES は、シンガポール政府が重要産業として位置づけている化学産業の拠点として整備された人工島ジュロン島に立地しています。ジュロン島は、シンガポール本島の南西にあった7つの島をつなげるように埋め立てられ、2009年に完工しました。化学プラントへのテロを防ぐため、事前に登録した上で、チェックポイントでセキュリティチェックを受けなければ入島できない、厳しい管理体制が敷かれており、普通はシンガポールへ住んでいても入ることができない場所の一つです。カメラの島内持ち込みも原則禁止されています。

シンガポール本島に設置されたチェックポイントを抜け、橋を渡ってジュロン島へ入ってみると、道路から見えるプラントは間隔が大きくとられており、まだプラントを誘致する余地があるように見えました。島内へ進出されている日系企業の方によると、シンガポール政府は一般的な化学プラントの集積から より高付加価値のスペシャリティケミカルプラントの集積へターゲットを移しており、かなり積極的に企業の入れ替えを進めているとのことです。

ICES では、研究体制や研究内容のほか、産業界との連携を強く推進していること等の説明があった後、所内の見学が行われました。国の研究機関であることから最高レベルの分析機器が整備されている姿を想像していましたが、一般に企業で導入されるような、価格と性能のバランスが良い分析機器が多い印象だったほか、スケールアップ試作用の設備が充実しており、共同研究企業の研究者が派遣されて一緒に研究を進めているなど、研究成果が産業界ですぐに実用化できるように配慮されていることを感じました。

(福田駐在員 長野県派遣)